

令和7年度理事会資料（第2回）

令和8年3月18日

一般社団法人日本・オマーン協会

友好事業活動

I 友好交流

・ ナショナルデーの開催 令和7年11月

令和7年のナショナルデーは、ホテルニューオータニで開催され、多くの関係者が祝賀に訪れ盛大に開催されました。



ブサイディ大使は、祝辞の挨拶においてパレスチナ紛争の唯一の解決策はパレスチナ国家の建設であり、話し合いによる平和的解決に努力するオマーンの外交方針の基本を述べるとともに、日本からの積極的な投資、経済分野での協力を歓迎し、日本との友好関係の更なる促進を期待し、努力すると述べられました。



ブサイディ大使の冒頭挨拶の後、西村協会会長（日本オマーン議連会長）が祝辞を述べられました。日本とオマーンは長い友好の歴史があり、安倍元総理はオマーンとの包括的パートナーシップの強化に尽力され、友好関係の更なる深化に努力された。自由で開かれたインド・太平洋の実現にオマーンは地政学的に重要な位置にあり、経済、安全保障分野での連携、協力を中心に積極的に取り組み、努力すると言われました。

・ Meet the Ambassador の開催

令和8年3月

3月5日(木) Meet the Ambassador が開催されました。今回の Meeting は、大使と企業グループごとに個別のテーマで意見の交換が可能な企画として行っています。ラマダン中の開催となり、イフタルの体験を併せてオマーンの文化を理解し、友好親善を深める趣旨となりました。



ブサイディ大使は、冒頭、アメリカとイスラエルによる軍事攻撃によりイランの報復行動が開始され、中東地域の安定した秩序に対する重大な懸念を惹起し国際社会に大きな衝撃を与える緊急事態であることに触れ、オマーンは話し合いによる紛争解決が基本で、地域の安定に積極的に努力すると強調し、オマーンの外交の基本方針を明確に述べられました。

冒頭発言の後、大使は、参加法人会員のテーブルを訪問し、意見交換を丁寧に行いました。ブサイディ大使の熱心で積極的な姿勢に感謝申し上げます。



テーブルを訪問しての意見交換が終了し、イフタルが開始されました。西村会長も参加され、ブサイディ大使、久保田経団連事務総長とオマーン料理を賞味しながら懇談した後、参加者と穏やかな雰囲気での歓談の時になりました。



今回の Meet the Ambassador の企画は、多くの法人会員の皆様の参加と協力をいただき、有意義な意見交換、懇親の機会となりました。協会は、皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます、引き続き努力をして参ります。

II 講演会

- オマーン外務省政務次官による特別講演 令和7年4月

大阪万博が開会され訪日中のオマーン外務省政務次官は、オマーン大使館で令和7年4月17日(木)、オマーンの外交政策について特別講演を行い、参加者との意見交換と懇親に努められました。



Ⅲ 繋げる・繋がる活動

・ 大阪万博オマーンナショナルデイへの招待 令和7年9月

2025年 日本国際博覧会が開催され、160を超える国・地域・国際機関が参加し、最新の技術や独自の文化が紹介されました。オマーン政府は、9月20日(土)王室高官の臨席の下、オマーンナショナルデイを開催し、自然と人間の調和を大切にするオマーンの地球環境についての基本的な姿勢を示すとともに歴史、文化の紹介に努めています。

特別な招待を受け、約80人の協会会員がナショナルデイに参列しました。ゲスト開放によるオマーンパビリオンの鑑賞、大屋根リング通路における王立騎兵隊による音楽行進、ホールでの演劇パフォーマンスなどオマーンのフィーリングを満喫し、オマーンを理解し、友好親善を深める貴重な体験になりました。

オマーンパビリオンに展示されていたイチジクの木は、大阪府羽曳野市の小学校に寄贈され、学校の食育に使われることになりました。1月22日(木)に植樹祭が執り行われ、ブサイディ大使の祝辞が送られています。

オマーン政府の地域社会との友好親善に積極的に取り組む努力に敬意と感謝を申し上げます。多くの法人会員の皆様の参加と協力をいただき、有意義な意見交換、懇親の機会となりました。協会は、皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げ、引き続き努力をして参ります。

・ アフマド・ビン・マジード インターナショナルの生徒の来日 令和7年10月

10月10日(金)オマーンとの青年・文化・教育交流促進の取り組みの一環として「文化・教育外交の夕べ」が大使館で開催されました。学校生徒はNASA公認の国際天文観測協力(IASC)プロジェクトに参加し、活動している。

日本の生徒と関係者に青年・文化・教育交流の促進の取り組みの企画に参加、協力を呼びかけました。

令和8年度 事業計画（案）

令和8年3月18日

一般社団法人 日本・オマーン協会

1 基本方針

関係法令及び定款を遵守し、関係機関との緊密な連携と協力の下、市民参加の友好活動を展開。

2 活動方針

アラブ湾岸地域の政治、経済、安全保障、歴史、文化等に関する理解と認識を深め、オマーンとの戦略的パートナーシップの強化に貢献する。
特に、次代を担う青少年による人的交流の促進に積極的に取り組む。

3 主要事業

（1） 友好交流

- ・ 駐日オマーン大使との懇談、懇親

「Meet the Ambassador」

- ・ 往来する政府要人等との懇談、懇親
- ・ 教育、スポーツ等の文化交流

（2） 講演会

（趣旨）アラブ湾岸地域の政治、経済、社会事情について理解し、相互の歴史、文化についての認識を深める。また、協会会員相互の親睦に努める。

- ・ 市民講座

協会会員を対象に、オマーン大使館会議室で開催。

- ・ 特別（公開）講座

協会会員以外にも広く参加を求め、公共施設で開催。

(3) 繋げる・繋がる活動

- ・ 関係友好団体との連携、協力を推進する。

4 広報・調査活動

- ・ ホームページの「会員ページ」コーナーを活用することにより、会員相互の情報交換および親睦に努める。

5 留意事項

- (1) TV会議等オンラインの活用推進に努める。
- (2) 公正かつ透明性の高い協会運営に努める。
- (3) 正会員（個人、法人）、一般会員の新規募集に努める。

現在の会員数

令和8年3月現在

1 名誉会員：2名

2 法人会員：20社 (社員)

出光興産(株)	千代田化工建設(株)
伊藤忠商事(株)	東亜建設工業(株)
大阪ガス(株)	日揮グローバル(株)
(株) コア	(一社) 日本経済団体連合会
(株) 神戸製鋼所	丸紅(株)
五洋建設(株)	(株) 三井住友銀行
山九(株)	三井物産(株)
(株) JERA	三菱重工業(株)
(株) 商船三井	三菱商事(株)
住友商事(株)	(株) 安井建築設計事務所

(50音順)

3 個人正会員：30名 (社員)

【 社員総数(法人、個人) 50名 】

4 一般会員：10名